

楠葉西中学校 2年生 本日(5/7(木))の予定

下の時間割を目安にして、『めあて』を達成できるように意識しながら、毎日課題に取り組みましょう。

時間\曜日		5/7(木)	
1 限目	教科／めあて	国語①	表現技法を使って一行詩を作る
	内容	○「一行詩を作ろう①～④」プリントに順に1枚ずつ取り組む。→答え合わせ ○「小ばなし①」プリントに取り組む。→答え合わせ ○早く終わった人は、新出漢字プリントに取り組む。	
	注意事項	「一行詩を作ろう②・③」プリントは1枚終わるたびに答え合わせをしよう。 新出漢字プリントは週の宿題です。	
2 限目	教科／めあて	社会①	オセアニアの自然の特徴をつかみ、その歴史を大まかに説明できる
	内容	ワークシートのとおりに進めてください	
	注意事項	いつもの授業を一人で取り組む形です。できるところからやってみましょう！	
3 限目	教科／めあて	理科①	地層のでき方、堆積岩の種類について理解する
	内容	前回の課題の2・3をホームページに掲載されている解答を見て答え合わせをし、タブレットドリル 「地層と化石・堆積岩」のドリルプリント「堆積岩」に取り組む。	
	注意事項	タブレットドリルプリントは配布しますが、わからないときは、上記を参考にしてください。	
4 限目	教科／めあて	英語①	1年の基本事項の復習等
	内容	エイゴラボ(p.2～4)	
	注意事項	丸付けをする。間違えた問題の英文をノートに書いて復習をする。	
5 限目	教科／めあて	美術	以前に出された宿題の見直し
	内容	お手本プリントを見ながら、グラデーションが丁寧にできているか、白のままのところがないかないかなどを確認し、クオリティをさらに上げる。	
	注意事項	「内容」に書いていることをよく読んで取り組もう	

〔詩・短歌・俳句シリーズ〕一行詩を作る①

年 組 氏名

一行詩とは、「一行」で書かれた詩のことです。

今回は初めてですから、【基本形()は()のようだ】の型にあてはめてみましょう。

1 次の()それぞれに入ることばを自由に考えて、一行詩を作りましょう。()には同じ言葉を入れません。

①ひまわりは()のようだ。

②あかちゃんの手は()のようだ。

③()は空にクレヨンで描いた太い線のようだ。

2 自然の風物を題材して一行詩を作りましょう。

＜花・太陽・空・雲・雨などの自然を取り上げ別の物にイメージする＞

()は()のようだ。

3 身近なものを題材にしよう。

＜道具・体の一部・生き物などを取り上げ、別の物にイメージする＞

()は()のようだ。

(注)このシートには、解答・解説シートはありません。

〔詩・短歌・俳句シリーズ〕一行詩を作る②

年 組 氏名

前回は、基本型【()は()のようだ】で作りましたが、
今回は、応用型【()、それは()だ】の型にあてはめて、一行
詩を作りましょう。

〔例〕 海は地球の命だ。 → 海、それは地球の命だ。

1 次の一文を例にならって、一行詩にしましょう。

①人の心は表もあれば、裏もある。

→()

②海は季節によって表情を変える。

→()

③鳥はいつものんきに歌っている。

→()

2 次のものを題にして、【()、それは()だ】の型の一行詩を
作りましょう。

①鏡()

②雨()

③桜()

〔詩・短歌・俳句シリーズ〕一行詩を作る②

年 組 氏名

前は、基本型【()は()のようだ】で作りましたが、
今回は、応用型【()、それは()だ】の型にあてはめて、一行詩を作りましょう。

〔例〕 海は地球の命だ。 → 海、それは地球の命だ。

1 次の一文を例にならって、一行詩にしましょう。

①人の心は表もあれば、裏もある。

→ 人の心、それは表もあれば裏もある。

②海は季節によって表情を変える。

→ 海、それは季節によって表情を変える。

③鳥はいつものんきに歌っている。

→ 鳥、それはいつものんきに歌っている。

2 次のものを題にして、【()、それは()だ】の型の一行詩を作りましょう。

答えが、【()、それは()だ】の型になっていること。

①鏡(鏡、それは世界が無限であることを示す。)

②雨(雨、それは恵みをもたらしてくれる。)

③桜(桜、それは見る人の心を幸せにする。)

〔詩・短歌・俳句シリーズ〕一行詩を作る③

年 組 氏名

今回は、応用型【()、それは()だ】に続き、例にならって応用型2【体言止め】の型にあてはめて、一行詩を作しましょう。

〔例〕 海、それは地球の命だ。→地球の命の海
(テーマを最後にもってきて体言止めにする)

1 次の一行詩を例にならって、別の一行詩にしましょう。

①夕焼け、何となく悲しいオレンジ色だ。

→()

②雨、悲しみを洗い流してくれるもの。

→()

2 次の言葉をテーマにして、一行詩を作しましょう。

①雷()

②セミの声()

③こたつ()

〔詩・短歌・俳句シリーズ〕一行詩を作る③

年 組 氏名

今回は、応用型【()、それは()だ】に続き、例にならって応用型2【体言止め】の型にあてはめて、一行詩を作りましょう。

〔例〕 海、それは地球の命だ。→地球の命の海
(テーマを最後にもってきて体言止めにする)

1 次の一行詩を例にならって、別の一行詩にしましょう。

①夕焼け、何となく悲しいオレンジ色だ。

→何となく悲しいオレンジ色の夕焼け

②雨、悲しみを洗い流してくれるもの。

→悲しみを洗い流してくれる雨

2 次の言葉をテーマにして、一行詩を作りましょう。

①雷

【 一瞬で静寂をつくる雷 】と最後が「雷」で終わっていること。

②蝉の声

【 暑さを盛り上げる セミの声 】と最後が「セミの声」で終わっていること。

③こたつ

【 一度入ると抜け出せないこたつ 】と最後が「こたつ」で終わっていること。

〔詩・短歌・俳句シリーズ〕一行詩を作る④

年 組 氏名

今回は、応用型【()、それは()だ】、応用型2【体言止め】のどちらかを選んで、二つのテーマで一行詩を作りましょう。

1つめのテーマは「学校生活」です。

①日常の学校生活を題材にしてみよう。

(各教科・宿題・クラブ・友だち・給食・当番活動など)

〔例〕 数学、それは何よりも緊張する時間

②学校行事を題材にしてみよう。

(入学式・卒業式・始業式・終業式・体育祭・文化祭・宿泊学習・修学旅行など)

〔例〕 ワクワク、ドキドキ、そしてため息が出た始業式でのクラス発表

2つめのテーマは「食べ物」です。

①「好きな食べ物」を題材にしてみよう。

②「嫌いな食べ物」を題材にしてみよう。

(注)このシートには、解答・解説シートはありません。

〔小ばなしシリーズ〕 小ばなし1

このシリーズでは、江戸時代の笑話(小ばなし)を紹介します。江戸時代の笑話には、当時の世の中の様子や人々の生活、人情を題材にしたものが多く、笑えるだけでなく、当時のいろいろなことを知ることができます。

学習の目的は二つです。

ひとつは、この話を読んで、「どこがどんなふうにおもしろいのか」、「なぜ笑えるのか」を文章で書くことです。どうしておもしろいのか、笑えるのかということを説明することは『書く力』を伸ばすことにつながります。

もう一つは、声に出して読むことです。落語家になったつもりで、声に出して読んでみましょう。そして読むときは登場人物になりきって、もしあなたのその話を聞いている人がいたら、その人を笑わすつもりで読んでみましょう。

小ばなしを楽しみながら、書く力と読む力の両方を身に付けましょう。

<課題>

次の小ばなしを読んで、

①原稿用紙に「どこがどんなふうにおもしろいのか」、「なぜ笑えるのか」を説明する文章を書きましょう。

②読み方を工夫して、その話を聞いている人がいたら、その人が小ばなしのおもしろさに笑ってしまうような読み方を練習しましょう。

(注) 小僧

商店で使われている少年の店員のこと



うわさ話

だんな「おまえはたいした人間だ。世間のやつらはどいつもこいつも、他人のうわさ話ばかりしているが、おまえはけっしてしない。えらいもんだ」

小僧「はい、私は他人のうわさ話をしないようにと、いつも心がけています」

だんな「うん、うん、それはいい心がけだ」

小僧「ところでだんな様。となりの五郎兵衛さんは、よく他人のうわさ話をする人で、すなわ」

年 組 氏名

〈課題1〉	「どこがどんなふうにおもしろいのか。」「なぜ笑えるのか」を説明しなさい。

〈課題2〉	読み方の工夫とあるが、どんな読み方をすればよいかを答えなさい。

〈課題3〉	〈課題2〉で考えた読み方で、読む練習を3分間しなさい。練習後、下の選択肢のどちらかに○をしなさい。
	上手く読めた ・ 大体読めた ・ 難しかった

〈答え〉を確認し、答え合わせをしよう。

自由課題	実際に家族など自分以外の人にこの話を聞いてもらい、小話を披ろうした感想を書きなさい。

[小ばなしシリーズ] 小ばなし1

年 組 氏名

学習するみなさんへ：

「どこがどんなふうにおもしろいのか」、「なぜ笑えるのか」をわかりやすく説明することができましたか。いろんな文章を書くときには、「相手にわかりやすく」をいつも心がけるようにしましょう。原稿用紙に書いた自分の文章を友だちと読みあって、書き方を比べあったりするののもよい学習になります。

また、聞いている人が小ばなしのおもしろさを感じるような読み方を工夫することは、相手にわかりやすく話すことにつながりますよ。

面白さを説明するときのポイント

この小ばなしが「どんなふうにおもしろいのか」、「なぜ笑えるのか」を説明しようとするときには、次のことがらがポイントになります。あなたが書いた文章にこれらのポイントが入っているかどうか確かめましょう。

ポイント

● だんなが、入のうわさ話をしないのは偉い」と小僧をほめたところなのに、小僧が「どこでだんな様。となりの五郎兵衛さんは、よく他人のうわさ話をする人ですなあ」と五郎兵衛さんのうわさ話をするところ。

読み方のポイント

- 登場人物によって声を変える工夫をする。
だんな」は大人だから低めの声で言うなど。
- 会話の部分はリズムよく、実際に会話しているように話す。
- 会話の内容によって調子を変える。
だんな」の一つ目のセリフは感心してほめているので、うんうんうなづきながらおだやかに言うなど。

[illegible][illegible]

自主學習欄（さらに漢字練習をしたり、わからない語句の意味調べをしたり、短文を作ったり、自由に）

6 他地域と結びつくオセアニア

()組()番

名前()

☆ 本時の流れ： ※ 旧1-2と1-2はやりましたが、もう一度やってみよう！

時間	内容	授業の形
1分	1.導入 本時の目標・本時の流れの確認	一人で
7分	2.課題1 『オセアニア州の地図に、国名を時間内にかけるだけ書き込む』 『3つの〇〇ネシアを書き込む』	
5分	3.課題2 『教科書 P.104 の地図を見て、重要だと思う自然地名を6つ書きこむ』	
3分	4.課題3 『地図中に赤道と日付変更線を書き込む』 ← おおまかでよい	
3分	5.読む 教科書 P.104～105を読んで、重要と思われる場所に線を引く	
5分	6.課題4 『オセアニアの気候帯を大まかにまとめよう』	
7分	7.課題5 『オセアニアとほかの地域との結びつきについてまとめる』	
4分	8.振り返り	

〔目安〕

--	--

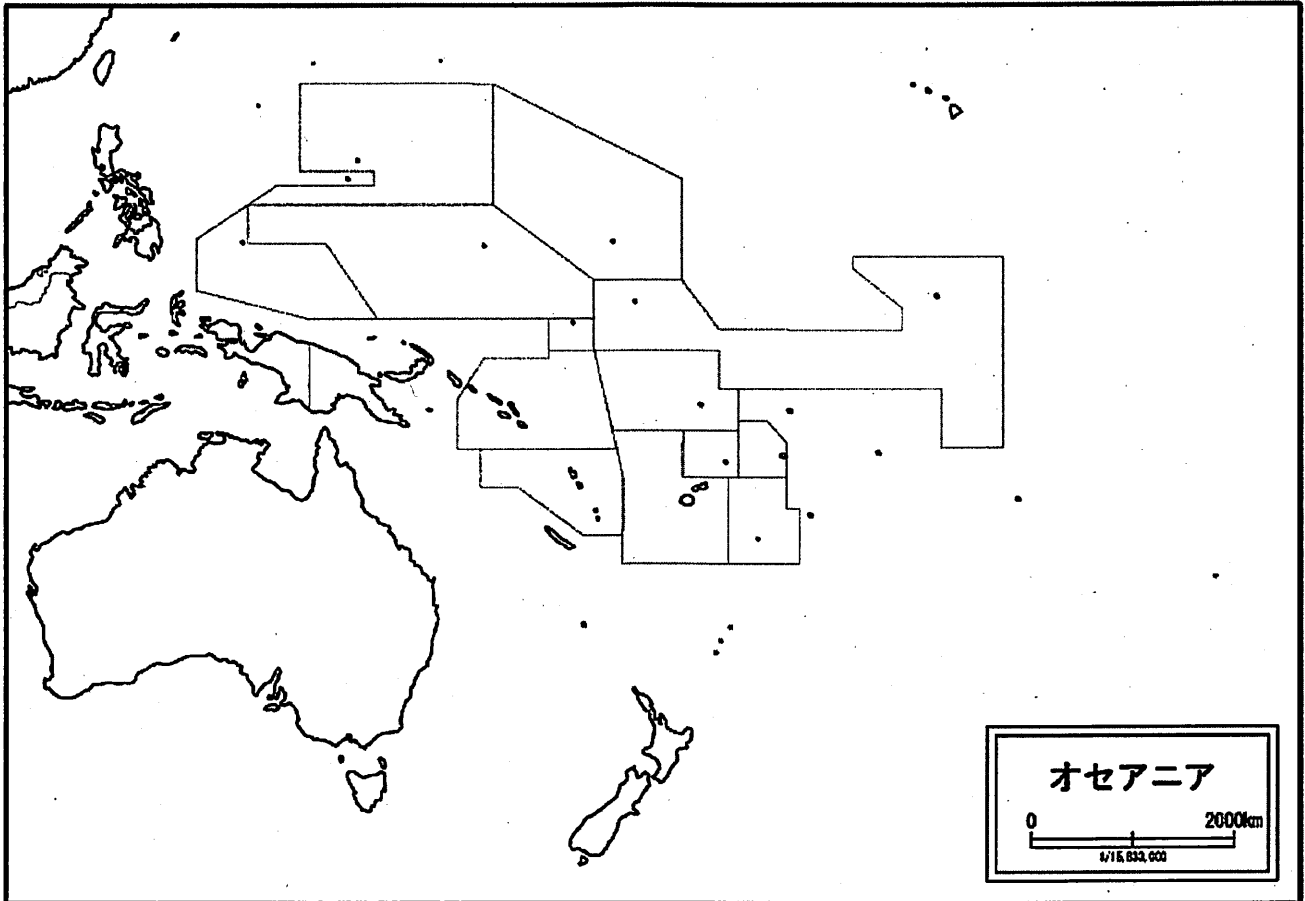
C: できていない

今日の授業でわかったことを、簡単に文章でまとめてみよう。自分が特に大事だと思うキーワード（3つ）にはアンダーラインを引いておくこと。文章でまとめる練習だ！！

課題1・2・3『南アメリカの国と自然を知ろう』

※ 自分の力で地図を書いてみよう！

() 班



課題4『オセアニアの気候帯を大まかにまとめよう』

※ 資料集P.95の気候地図も参考に

どのあたりにどんな気候帯があるかな？

・() 帯：

・() 帯：

・() 帯：

課題5『オセアニアとほかの地域との結びつきについてまとめる』

※ 教科書の「太平洋の島々」と資料集の世界P.98～99も参考にやってみよう

理科 2年 地層の作り方

2年()組()番 氏名()

1 地層の作り方

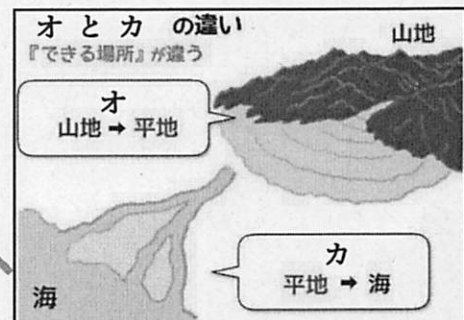
(1) (ア 風化) …気温の変化や水のはたらきによって、岩石がもろくなって表面がくずれる現象。

(2) 流水(流れる水)のはたらき

- ① (イ 侵食) …もろくなった岩石をけずりとること
- ② (ウ 運搬) …れきや砂、泥を運ぶこと
- ③ (エ 堆積) …運んできた土砂を水の底に積もらせること



(3) 山地→平地になるところでは(オ扇状地)
平地→海になるところでは(カ三角州)
がつくられる。



れき・砂・泥の粒がどのように運ばれ、堆積するか P86 を見てまとめよう

① 河口からの距離について

例: 河口からの距離が近いところにはれきや砂が、河口から離れた場所に泥が堆積しやすい。

② 同時に堆積したときの上下の関係

上から泥、砂、れきが堆積しやすい。

→現在、崖などで見られる地層は、長い時間をかけて水底で堆積した後、大地が変動して陸上に現れたものである。

(4) 地層の広がり

- ・地層の広がりを調べる方法の一つに、地下深くまで穴を開ける(キボーリング)という方法がある。
- ・特に目印となる地層を(ク かぎ層)といい、離れた地層を比較するときの手がかりになる。

→(ク)層にはたとえば火山の噴火によってできる(ケ 火山灰)の地層や特徴的な(コ 化石)や岩石の地層がある。

図 1 地層の成り方を調べるために、次の実験をしました。

〔実験 1〕トレーに、砂、泥、れきを混ぜたものを置き、トレーをかたむけて水を入れる。次に図 1 のように、斜面の上から静かに水をかける。

〔実験 2〕図 2 のように、長い筒に水を入れ、砂、泥、れきを混ぜたものを注ぎこむ。しばらく静かにして、土砂のたまり方を調べる。

図 1

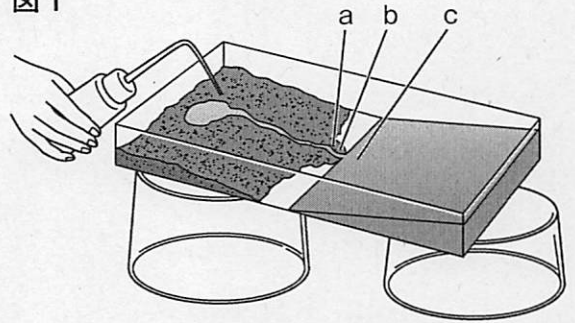


図 2

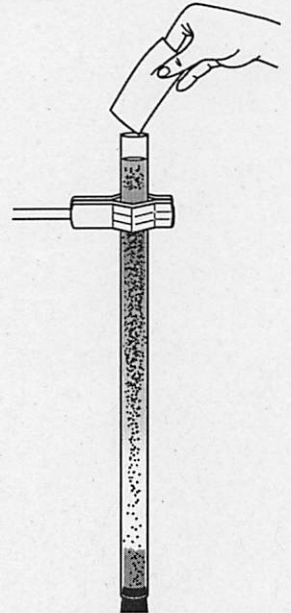


図 (1) 砂、泥、れきを粒が大きいものから小さいものの順に並べなさい。

(れき、砂、泥)

図 (2) 実験 1 で、図 1 の a～c にたまるものを正しく組み合わせたものを次のア～エから選びなさい。

(ウ)

ア a…泥、b…砂、c…れき

イ a…れき、b…泥、c…砂

ウ a…れき、b…砂、c…泥

エ a…砂、b…れき、c…泥

〔解説〕粒の大きいものから近いところに堆積していき、粒が小さいものほど遠くに運ばれ堆積する。

図 (3) 実験 2 の結果について、正しく述べたものを次のア～ウから選びなさい。

(ア)

ア 粒が大きいものほど下に、粒が小さいものほど上にたまる。

イ 粒が小さいものほど下に、粒が大きいものほど上にたまる。

ウ 粒が大きいものも小さいものも均等に混じってたまる。

図 2 右の図は、流水のはたらきで運ばれた泥、砂、れきが、海底に堆積したようすを模式的に表したものです。次の問いに答えなさい。

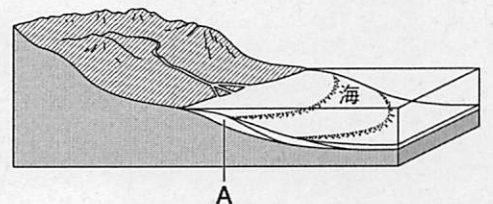


図 (1) 流水のはたらきのうち、泥、砂、れきなどを運ぶはたらきを何といいますか。

(運搬)

図 (2) A の部分に最も多く堆積したのは、泥、砂、れきのどれですか。

(れき)

図 (3) (2) のように考えた理由を簡単に書きなさい。

(れきの粒が最も大きいため、陸に近いところに最も多く堆積するから。)

図 (4) 平地から海に出たところでつくられる、扇を広げたような形をした地形を何といいますか。

(三角州)

図 (5) (4) と扇状地の堆積物について、適するものをア～ウから選びなさい。

ア (4) の堆積物の粒のほうが大きい。

(イ)

イ 扇状地の堆積物の粒のほうが大きい。

ウ 堆積物の粒の大きさはどちらも同じ。

〔解説〕運搬された大きな粒は扇状地に堆積し、その後運搬された少し小さい粒が三角州に堆積する。

理科プリント 堆積岩

- ・**堆積岩**とは、地層として堆積した土砂などが長い年月の間に押し固められてできた岩石である。堆積岩は粒の大きさや物質の違いにより6種類に分けることができる。

名称	堆積するおもなもの	粒の直径
泥 岩	泥(シルト・ねんど)	1/16 mm 2 mm
砂 岩	砂	
れき 岩	れき	

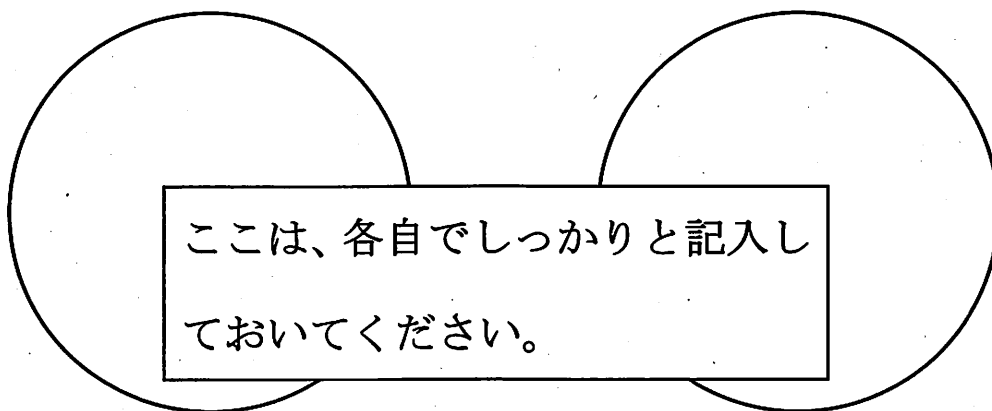
名称	堆積するおもなもの	塩酸をかけると…
石灰 岩	生物の遺がいや 水に溶けていた成分	二酸化炭素が発生する
チャート		二酸化炭素が発生しない
凝灰 岩	火山の噴出物	

それぞれの堆積岩を右ににスケッチしよう。ただし、教科書は参考程度とし、資料集またはインターネットで調べたサイトの堆積岩をスケッチすること。

また、スケッチは全体を書くのではなく、一部分を拡大して書くこと
スケッチの参考になるサイトは表紙に書いています。

スケッチをする際に注意すること（1年生の教科書より）

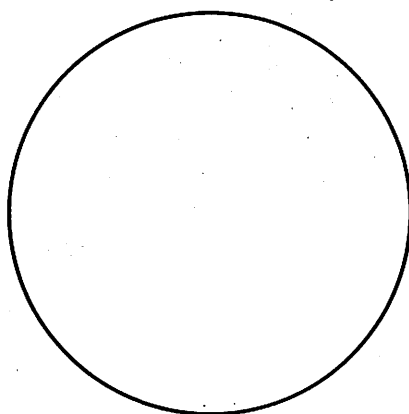
- ・ スケッチは、観察したものをそのままかく
- ・ 細い線か点で書き、二重書きせず、はっきりと見やすくかく
- ・ 影はつけない
- ・ 細かいところまで丁寧に描く、大きく描く



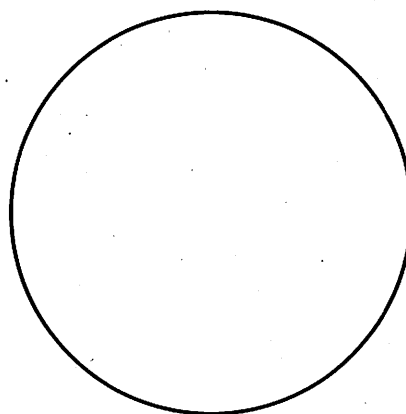
ここは、各自でしっかりと記入し
ておいてください。

岩石名

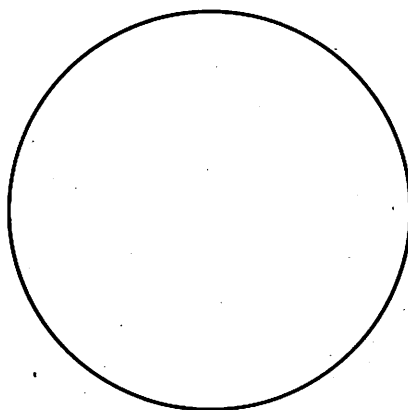
岩石名



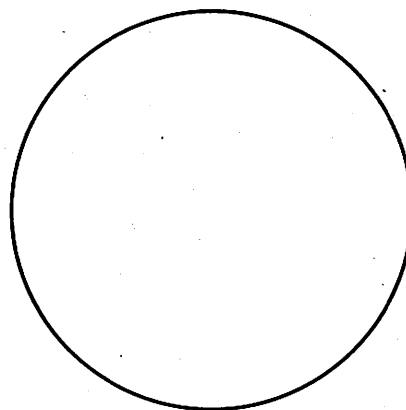
岩石名



岩石名



岩石名



岩石名

図 1 次の問いに答えなさい。

(1) 地層をつくる堆積物^{たいせきぶつ}がおし固められ、かたい岩石となったものを何といいますか。

()

(2) 次の①～③の条件にあてはまる岩石を、あとのア～カからそれぞれ選びなさい。

① 主に砂がおし固められてできているもの。

()

② 火山灰などが積もってできているもの。

()

③ 水中の生物のかたい殻^{から}などがおし固められてできているもの。

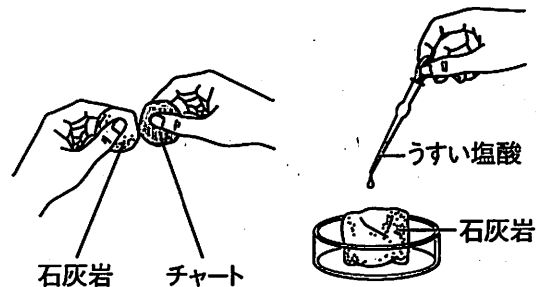
() ()

ア れき岩 イ 砂岩^{さがん} ウ 泥岩^{でいがん}
エ チャート オ 石灰岩^{せっかいがん} カ 凝灰岩^{ぎようかいがん}

図 2 次のように、いくつかの堆積岩^{たいせきがん}の特徴を調べました。

① れき岩、砂岩、泥岩^{でいがん}について、表面をルーペで観察し、
ふくまれている粒^{つぶ}の大きさや形を調べた。

② 図のように、石灰岩とチャートをこすり合わせて、か
たさを比べた。さらに、それぞれにうすい塩酸をかけ
て変化を調べた。



(1) 砂岩にふくまれる粒の形は、花こう岩などの火成岩^{かせいがん}にふくまれる粒と比べてどのような特徴がありますか。次のア～エから選びなさい。

()

ア 砂岩にふくまれる粒は、火成岩にふくまれる粒と比べて角ばっている。

イ 砂岩にふくまれる粒は、火成岩にふくまれる粒と比べてまろみを帯びている。

ウ 砂岩にふくまれる粒も、火成岩にふくまれる粒も、角ばっている。

エ 砂岩にふくまれる粒も、火成岩にふくまれる粒も、まろみを帯びている。

(2) 砂岩にふくまれる粒は大きさがほぼそろっていますか、大きさがばらばらですか。

()

(3) 石灰岩とチャートを比べたとき、かたいのはどちらですか。

()

(4) 石灰岩とチャートにうすい塩酸をかけたとき、気体が発生するのはどちらですか。

()

(5) (4)で発生する気体は何ですか。

()

図 1 次の問いに答えなさい。

- (1) 地層をつくる堆積物^{たいせきぶつ}がおし固められ、かたい岩石となったものを何といますか。

(堆積岩)

- (2) 次の①～③の条件にあてはまる岩石を、あとのア～カからそれぞれ選びなさい。

- ① 主に砂がおし固められてできているもの。

(イ)

- ② 火山灰などが積もってできているもの。

(カ)

- ③ 水中の生物のかたい殻^{から}などがおし固められてできているもの。

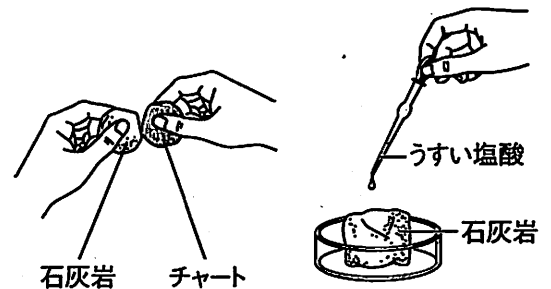
(工) (オ)

ア れき岩 ← イ 砂岩 ← 主に泥がおし固められたもの。
 ウ 泥岩
 エ チャート ← オ 石灰岩 ← 主にれきがおし固められたもの。
 カ 凝灰岩

図 2 次のように、いくつかの堆積岩^{たいせきがん}の特徴を調べました。

- ① れき岩、砂岩、泥岩^{でいがん}について、表面をルーペで観察し、
 ふくまれている粒^{つぶ}の大きさや形を調べた。

- ② 図のように、石灰岩とチャートをこすり合わせて、か
 たさを比べた。さらに、それぞれにうすい塩酸をかけ
 て変化を調べた。



- (1) 砂岩にふくまれる粒の形は、花こう岩などの火成岩^{かせいがん}にふくまれる粒と比べてどのような特徴がありますか。次のア～エから選びなさい。

(イ)

ア 砂岩にふくまれる粒は、火成岩にふくまれる粒と比べて角ばっている。

イ 砂岩にふくまれる粒は、火成岩にふくまれる粒と比べてまるみを帯びている。

ウ 砂岩にふくまれる粒も、火成岩にふくまれる粒も、角ばっている。

エ 砂岩にふくまれる粒も、火成岩にふくまれる粒も、まるみを帯びている。

【解説】砂岩にふくまれる粒は、流れる水のはたらきで角がとれてまるみを帯びている。

- (2) 砂岩にふくまれる粒は大きさがほぼそろっていますか、大きさがばらばらですか。

(大きさがほぼそろっている。)

- (3) 石灰岩とチャートを比べたとき、かたいのはどちらですか。

(チャート)

- (4) 石灰岩とチャートにうすい塩酸をかけたとき、気体が発生するのはどちらですか。

【解説】チャートはとてもかたく、うすい塩酸をかけても気体は発生しない。

(石灰岩)

- (5) (4)で発生する気体は何ですか。

(二酸化炭素)